



家庭教育学級リーダー研修会 盛会にて終了！

5月11日(木)、17日(水)、18日(木)

研修テーマ

「学びのある家庭教育学級を目指した効果的な運営」
～「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を位置付けて～
約束や宣言をきっかけとして、家族の会話や活動を充実させたり、
お互いの頑張りを認め合ったりする家庭教育をお願いします。



研修会には、幼保・小・中452名の方にご参加いただき、実践発表と体験研修・交流会で学んでいただきました。素晴らしい発表をしてくださった3校(園)に心から感謝しております。発表概要と参加者の思いをまとめました。

さて、相談できる人がいる保護者は5割を切る現代、家庭教育学級の役割は重要になっています。人と人とのつながりを生み出していただくこと、保護者の悩みや不安を軽減・解消し、安心感や自信がもてるよう親としての学びの場や機会

を提供していただくことを願って、家庭教育学級の開催をお願いしています。

そこで、岐阜地区として、2つのお願いをしました。

- 1、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を位置付け、その趣旨を踏まえ、実践していただきたい。
- 2、「子育てサロン型」を組み合わせることで、楽しい語らいや人とのつながりを大切にしていきたい。

今回の研修で学ばれたことが、それぞれの園・所、小・中学校で生かされることを願っています。

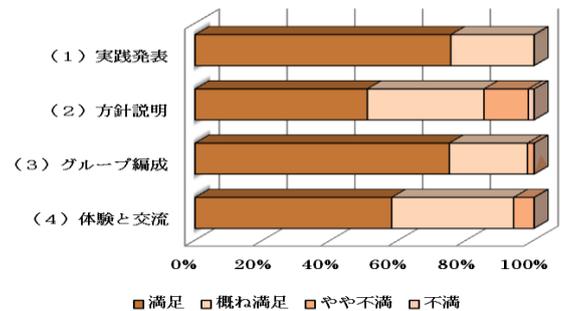
本巣市立糸貫西幼児園

「話そう！学ぼう！」

<発表の概要>

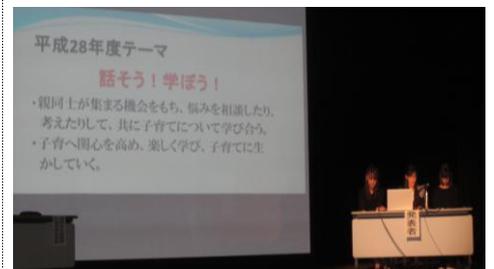
- テーマは「話そう！学ぼう！」。親同士が集まる機会をもち、悩みを相談したり考えたりして、共に子育てについて学び合う。子育てへの関心を高め、楽しく学び、子育てに生かしていく。この願い実現のため、10回開催。
- 第1回は、入園後で全員参加。園長先生の話聞いた。
- 4歳児・5歳児親子対象研修は、小グループの和やかな懇談も有り。
- 栄養満点・簡単朝食レシピでは、託児対応で安心して参加。
- 3歳児親子の読み聞かせ講座を生かし、絵本タイムを充実。
- 親子で遊ぼうは、日曜日に開催。父親の参加率が增加。

幼保の部アンケートより



<参加者の感想より>

- 年間10回も開催されていることに、びっくり。1つ1つ内容がしっかりしており、とても参考になった。
- テーマのもと、少人数のサロン型で、保護者同士が密になって話ができることがとてもよいと思った。
- 交流会を最後に設けて、「リラックスタイム」があったのが参考になった。
- 託児を役員がしているのはとても素晴らしい。お母さんはリフレッシュできる。
- 父親交流の為、日曜日に開催したのがすごい。園と保護者の協力が多い。
- 参加しやすい環境づくりや何かと何かを合わせる方法が、参加者数増によいと学んだ。



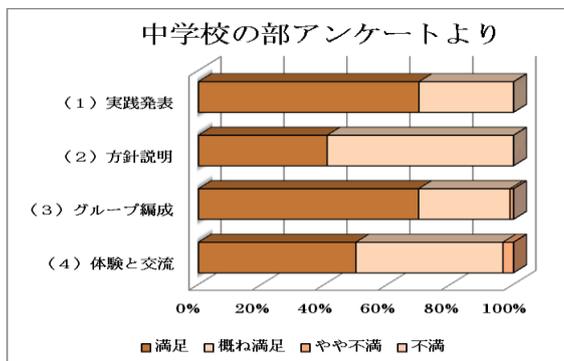
笠松町立笠松中学校

「母親委員会の活動を通して 家庭教育学級について考える」



<発表の概要>

- 主体性とやりぬく力を大切に、母親委員会に焦点をあて、①弁当の日、②さわやか母親のつどい、を発表。
- 弁当の日では、小中の連携と継続により全員が持参。生徒の主体性を育み、案内ポスターで地域連携もできた。
- 親子のすれ違いに視点をあて、コミュニケーションの見直しを考え、“ほめ達講演会”を開催。ピグマリオン効果、プラスへの変換・これは何のチャンスかのワークは、親の意識を変え、新たなコミュニケーション術を学んだ。



<参加者の感想より>

- 生徒全員がお弁当を持ってきたことがすごい。継続は力なり、また小中が一貫して同じことを行うからこそ成果が多い活動となると実感した。
- “ほめ達”を聞いて、早速実践していきたい。まず、親の自分が変わっていこうと思った。
- “ほめる”ことについて、普段意識していないことを取り上げ、ワーク参加型での実践が素晴らしい。
- 役員の方の願いや熱意で保護者を一人でも多く巻き込み、子どもの成長につなぐ取組・活動がすごい。

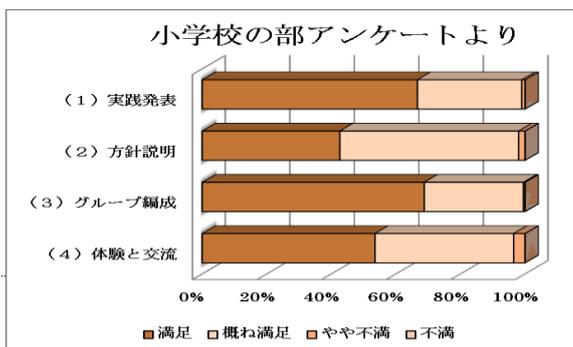


各務原市立那加第二小学校

「子どもたちの笑顔を絶やさないために ～家庭教育に活かす研修の実施～」

<発表の概要>：PTA企画編集による動画での発表！

- ポケモンGOの人気スポットを校区内にもつ那加第二小 PTAは、子どもたちの笑顔を絶やさないために、役員選出の難題を乗り越え、組織として活動。
- 研修委員会では、「子育て広場」を5回開催。給食試食会は大人気。水難救助訓練・動物キャラナビ・ヨガは、出席者が少なく課題も残った。参加者からは好評だったと言われた。
- 漢方流おもしろ健康雑学は、委員長が手腕を発揮し、予算の確保や茶話会の開催で好評を得た。
- 学校開放デー委員会を研修委員会から分離して活動。地域講師を依頼して、25講座を開催。学校・家庭・地域の連携・協調が達成できている。



<参加者の感想より>

- PTAの在り方が問われ、タイムリーな内容。自信をもらった。
- 取り組まれたことが、視覚的に分りやすく、コンパクトで、ユーモアも交えてまとめてあり、楽しく学んだ。
- PTAの方が苦労しながらも、前向きに生き生きと取り組んでみえた。内容もインパクトのある楽しいものであった。
- どこも同じような悩みを抱えながら、子どものためにと活動してくださる。学校側も「やってよかった」となるよう考えたい。
- 生の姿や思いを語っていただき、共感した。柔らかい明るい感じを受け、やる気になれた。
- 映像だけで斬新。話の苦手な人にはよい手法。

